

英文要旨執筆要綱(執筆要綱・補足説明もあわせてご覧ください)

1. 要旨の言語は、英語に限定します。
2. 原稿の長さは200語以内です。長すぎる場合は、編集委員会の責任において短縮することがあります。
3. 英文要旨では、論文の目的と結論を明確にしてください。英文要旨は英語を母国語とする校閲者がチェックしますので、英文要旨と同じ内容で簡潔な文章の和文原稿を提出してください。このチェックは「校閲」であって「翻訳」ではありません。最終的責任は執筆者に帰しますので、あらかじめ英語を母国語とする人の添削をうけてから提出してください。提出された要旨について、校閲の段階で修正することはできますが、校正の段階で修正することはできません。
4. 表記について
 - a. 原語の表記は、慣例にしたがってください。

例えば、日本語の場合は、原則としてヘボン式表記とします。ただし、長母音をしめすマクロンは使用しません。
 - b. 人物名は、姓を大文字にしてください。

例: Adam SMITH, Yukichi FUKUZAWA
 - c. 原語は、原則としてイタリックとします。必要に応じて英訳をつけてください。

例: *daimyo* [feudal lord], feudal lord or *daimyo*, feudal lords (*daimyos*), feudal lords known as *daimyos*
 - d. 引用符は、ダブル・クォーテーションとします。
 - e. 句読点は、引用符の内側におきます。
5. 著者名(英語表記)、英文タイトルは必ず記載し、次のようにしてください。

Osamu SAITO, In What Sense Was Medieval Japan a Nuclear Family Society? Local Community, Kinship, Farm-Family Compound

Yu MANDAI, Farm Management and Organization of Tenant Farmers by Landowners in the First Half of the Nineteenth Century: A Case Study of the Kaname Family in Hatakenaka Village, Hine County, Senshu Area

Toru KUBO, China's Import of a Vinylon Plant, 1957-65: The Roles of Foreign Technology and Independent Development